

事業所名

児童デイサービス大きな木（児童発達支援）

支援プログラム（参考様式）

法人（事業所）理念	子どもたち一人ひとりの想いや個性を大切に社会で自立するお手伝いと安全で安心できる療育の場を目指します。				
支援方針	日常生活における基本的動作及び友達と遊ぶ楽しさやルールの大切さを学び、集団生活に適応することができるよう適切かつ効果的な支援を行います。				
営業時間	9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無 ○あり なし
支援内容					
本人支援	健康・生活	健康な心と体を育てていくと共に安全に生活ができるよう環境作りを行っていく。日頃から子どもの心身の状態を把握し異変など速やかに気付けるよう心がけ必要に応じた支援を行っていく。また、食事や排泄、衣類の着脱、身の回りを清潔保持など生活に必要な基本的スキルを楽しく獲得できるよう支援していく。 例：手洗い指導、バイタルチェック、歯みがき指導、決まった時刻などルール順守、整理整頓、忘れ物チェックなど			
	運動・感覚	遊びを通して日常生活の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・及び必要な動作の習得ができるよう支援を行う。トランポリンやバランスディスク等を通してバランス感覚や空間認識の向上を図ったり、戸外での運動や公園での活動を取り入れる事で心肺機能の強化を行い、身体機能の維持ができるよう支援していく。 例：姿勢保持の訓練、理学療法士による体軸体操、バランスディスク、ダンス、集団運動遊び、ビジョントレーニング、プール、戸外活動など			
	認知・行動	一人ひとりの認知特性を理解しながら構造化環境や行動支援に取り組み、望ましい判断や行動に繋げられるようにしていく。パズルや記憶力ゲームを通じて問題解決能力や記憶力を身に付けたり、SSTを通じて友達とのコミュニケーションや協力の仕方を学び望ましい行動が身に付くよう支援していく。 例：季節ごとの製作、ボードゲームやカードゲームを用いた集団遊び、個別の課題など			
	言語 コミュニケーション	言葉によるコミュニケーションだけでなく表情や身振り、サインなどで意思のやりとりが行えるようにするなど、必要な能力を身に付ける事ができるよう支援していく。語彙力や読解力、音読などを身に付けながら周りとの円滑にコミュニケーションが取れるよう支援していく。 例：共感活動、紙芝居・読み聞かせ、輪読、気持ちの切り替え指導、集団活動における発表、他事業所との交流、日々の当番制など			
	人間関係 社会性	人に対する信頼感や共感の練習を行い、他者の気持ちを理解する力を育む支援を行っていく。遊びや施設外活動の体験を通じて友達との関わり方や公共施設でのルールやマナーが身に付くよう取り組んでいく。社会性や集団に参加するためのルールを学び、互いの存在を認め合いながら仲間作りにつながるよう支援していく。 例：礼儀作法の指導、施設外活動、共感活動、集団活動、余暇活動、他事業所との交流など			
家族支援	アプリや連絡帳、送迎時などで日々の情報共有ができるよう取り組んでいく。また、必要に応じて面談する機会を設け不安や困り事への相談援助を行う。	移行支援	児童の希望や保護者の意向を聞き、移行先や各関係機関との連携調整を行う。進路選択に必要な情報を整理してサポートしていく事で安心して移行ができるよう支援している。		
地域支援・地域連携	地域の公共施設等を利用し地域資源の活用をしている。他の通所支援事業所との交流や相談支援事業所との連携を行っている。	職員の質の向上	毎月事業所内での職員研修会に参加している。外部研修にも意欲的に参加をし、知識やスキルの向上に努めている。		
主な行事等	お花見、夏祭り、七夕、ハロウィンパーティー、クリスマス会、初詣、節分、ひな祭り、進級お祝い会、調理実習、プール遊び、誕生会、季節の製作、映画鑑賞会、他事業所との交流会、外出行事（公園、図書館、体育館、自動車体験、買い物体験、お仕事体験）、出前講座（体軸体操、かけっこ指導、防災教室、動物ふれあい体験、アロマ教室、昔遊び、歯みがき指導）など				